

反差別国際運動（IMADR）第29回総会アピール案

反差別国際運動（IMADR）は1988年の創設以来、アジア・太平洋、ヨーロッパ、アメリカ、アフリカの世界各地において人種主義および差別と闘う人びとの運動と連帯し、差別撤廃と人権実現、そして平和の実現のための取り組みを行ってきました。

私たちの運動は、国連憲章および世界人権宣言をはじめ、国連と国際社会が発展させてきた国際人権基準と、その実施のために築いてきた人権制度を大きな拠り所としてきました。社会の周縁に追いやられ、意思決定のプロセスから排除されてきた世界のマイノリティや先住民族のコミュニティにとって、すべての人の尊厳と権利の実現のために築き上げられた普遍的な人権の価値とそれを具体化する仕組みは、運動の心強い支えとなってきました。

しかしながら、近年、こうした価値や明文化された人権基準を無視したり、否定するような動きが世界各地で起きています。戦火や迫害を逃れ、住み慣れた故郷をあとに、安全を求めて他の国に向かう庇護希求者とそれを阻もうとする高く厚い政治・社会の壁、かつての植民地から来た移民や歴史的に差別されてきたマイノリティに対する無遠慮であからさまな攻撃、歴史を無視して大衆迎合を狙った政治とそれが及ぼす負の影響等、枚挙にいとまがありません。

このような動きに対して、私たちは傍観者として留まるわけにはいきません。こうした出来事一つひとつに、私たちはきっぱりと「ノー」の声をあげなくてはなりません。平和を求め、差別と闘う人びとと連携をとりながら、少しでもその声を大きくしていかななくてはなりません。

反差別国際運動（IMADR）に集まる私たちは、今まで以上に行動する人権 NGO として、その使命である世界からあらゆる形態の差別をなくすために闘っていく決意をここに表明します。

2017年6月9日

反差別国際運動（IMADR）第29回総会参加者一同